



平成25年度指定 高指第119号

井上 広司

【雅号】京美 きょうび

生年／昭和36年 指定技術名／銅器・深彫



ほうおうのまい

鳳凰の舞

彫金の技がいかに発揮された青銅の大皿である。鳳凰の羽根、足が重なり合う複雑な図柄であるが、作者の確実な立体造形感覚と、微細な鳳凰の羽毛を表現する詰め彫りといった彫金技術が本作の完成を可能にしている。50本以上の鑿を使い分け、さらに模様に合わせて新たな鑿を作るなど、仏具制作で培われてきた姿勢と技術により格調高い作品に仕上がっている。

平成27年作

素材・技法／青銅・彫金

寸法／高さ3cm×幅40.3cm×奥行25.3cm

[表彰・受賞歴]

昭和58年 京仏具技術コンクール入賞
昭和59年 京都府工芸産業技術コンクール入選
平成25年 富山県伝統的工芸品展コンクール銀賞
平成28年 富山県伝統的工芸品展コンクール
富山県知事賞

[経歴]

昭和56年 父正明に師事し、彫金、仕上げ、ロクロ技術を習得
平成 3年 父の死去により、独立自営
平成25年 伝統工芸士に認定
平成26年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定